

九州地区の8年7月住宅着工戸数
前年同月比6.8%減の5,853戸、熊本県は7.7%増

国土交通省がまとめた令和8年7月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比6.8%減の5,853戸で、床面積は同1.9%減となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が5.3%増、佐賀県が23.2%減、長崎県が2.6%減、熊本県が7.7%増、大分県が58%減、宮崎県が1.7%減、鹿児島県が26.3%減となっている。

新設住宅着工戸数(令和8年7月、令和7年7月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(㎡)		
	令和8年7月	令和7年7月	前年対比(%)	令和8年7月	令和7年7月	前年対比(%)
福岡	3,337	3,170	105.3	256,392	233,282	109.9
佐賀	252	328	76.8	25,004	27,541	90.8
長崎	297	305	97.4	25,523	26,344	96.9
熊本	885	822	107.7	71,832	64,174	111.9
大分	317	755	42.0	25,614	56,530	45.3
宮崎	397	404	98.3	34,484	34,146	101.0
鹿児島	368	499	73.7	35,477	41,592	85.3
九州地区計	5,853	6,283	93.2	474,326	483,609	98.1
沖縄	1,365	781	174.8	101,344	55,397	182.9
山口	298	407	73.2	29,716	34,319	86.6
全国計	66,439	61,409	108.2	5,114,830	4,733,360	108.1